

平成 29 年 4 月入学岡山大学大学院社会文化科学研究科博士前期課程【2 月募集】入学試験問題

講 座	法政理論、比較国際法政、 公共法政、司法政策
専門科目	税法

次の問いのすべてに答えなさい。

問1

個人所得税の対象である所得の意義については、大きく分けて、制限的所得概念(源泉所得説)と包括的所得概念(純資産増加説)との二つが唱えられてきた。それぞれがどのような見解であるのかを示した上で、両者がどのように異なるのかを説明しなさい。

問2

日本の所得税は制限的所得概念と包括的所得概念のいずれに基づいて課されていると考えられるか。課税標準を構成する各種所得に関する諸規定(所得税法 23 条から 35 条)や、非課税所得の規定(所得税法 9 条 1 項, 特に 16 号), 所得税法 59 条 1 項に言及しつつ, 説明しなさい。

以上